

官民連携による展示場の整備・運営検討業務【概要版】

平成24年3月

1. 業務の目的

我が国の産業の国際競争力の確保・向上に資する国際見本市・展示会の開催に必要なインフラとして、展示場の官民連携による整備・運営を検討するための情報の収集・分析等を目的として実施した。

2. 業務の内容

【報告書の構成】

第1章 見本市・展示会及び展示場の現況(市場調査)

- 1-1 展示会産業の基本的な構造
- 1-2 世界及び我が国における見本市・展示会の開催状況
- 1-3 世界及び我が国における展示場の状況
- 1-4 展示場の整備・運営に係る官民連携に向けた取組状況
- 1-5 官民連携からみた展示場整備・運営の課題

第2章 新たな展示場の機能についての検討

- 2-1 展示場の機能整備の潮流
- 2-2 展示場の機能に対するニーズ
－主催者アンケート結果－
- 2-3 東京圏における既存大規模展示場の稼働状況
- 2-4 東京圏における展示場の新規施設需要
- 2-5 展示場整備上の課題

第3章 展示場を官民連携事業として整備する場合の課題等の整理

- 3-1 展示場整備の事業収支シミュレーション
- 3-2 官民連携による事業スキームの検討
- 3-3 官民連携による事業実施の課題

3. 検討結果概要

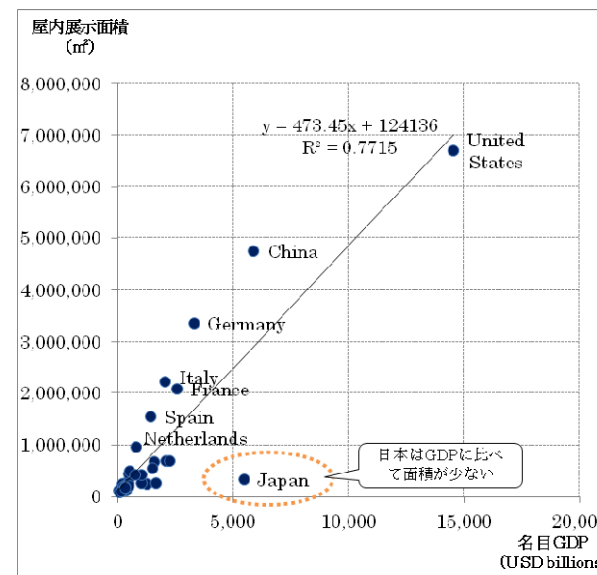
【ポイント1】(世界及び我が国における展示場の状況)

- アジアを中心に、展示ホール面積10万㎡を越える大規模展示場の整備が進展しているが、我が国には展示ホール面積10万㎡を越える展示場が存在していない。
- 我が国は、GDPの規模に比較して展示場の面積が小さい。

展示ホール面積のランキング

順位	施設名	国名	規模(㎡)
1	ハノーバーメッセ	ドイツ	466,100
2	メッセフランクフルト	ドイツ	345,697
3	フィエラミラノ	イタリア	345,000
4	広州交易会展示場	中国(広州)	338,000
5	ケルンメッセ	ドイツ	284,000
...			
13	上海新国際会展中心	中国	200,000
...			
54	シンガポールエクスポ	シンガポール	100,000
...			
...	東京ビッグサイト	日本	80,660
...			

GDPと展示ホール面積の関係



出所) IMF、UFI「THE 2011 WORLD MAP OF EXHIBITION VENUES」をもとに作成

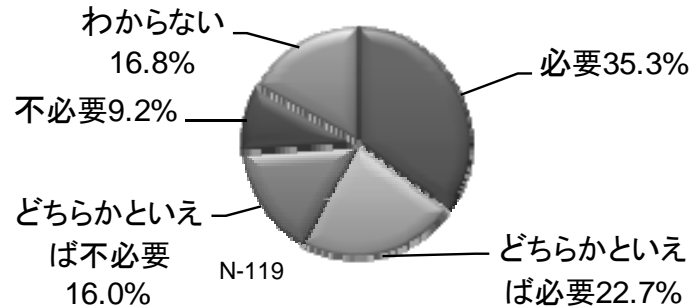
注) 屋内展示面積は、5,000㎡以上の展示場の展示ホール面積

【ポイント2】(展示場機能に対するニーズ)

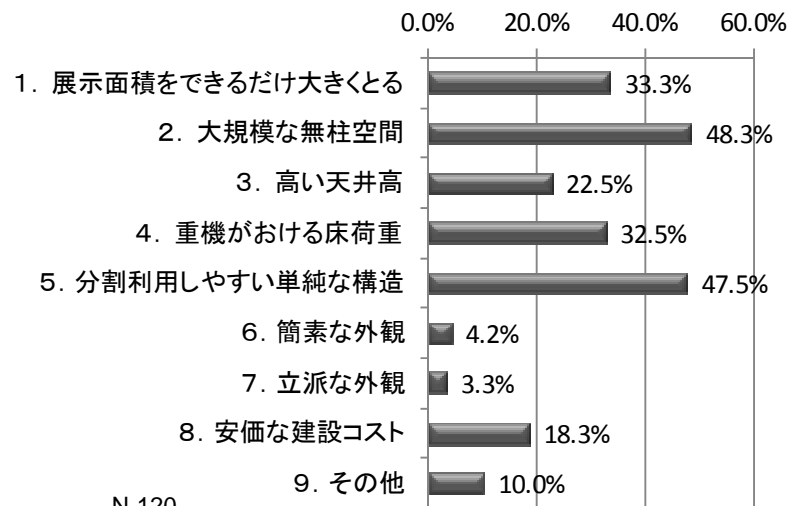
見本市・展示会の主催者を対象としてアンケートを実施。

- 6割弱の主催者が、我が国でも展示ホール面積が10万㎡を越える展示場整備が必要と考えている。大規模展示会主催者でその傾向が強い。
- 大規模展示場の整備地域は東京圏を求める声が多く、機能的には「大規模な無柱空間」「分割利用しやすい単純な構造」が求められている。

大規模展示場の必要性



展示場が備えるべき機能



【ポイント3】(事業収支シミュレーション)

新たに展示ホール面積2万㎡を整備する場合の事業収支シミュレーションを実施(但し、土地取得費は含めない)。

- 大規模展示場は、用地の確保も含めて民間事業者が単独で建設から運営に至るまでの事業を実施することは困難である。
- 特に、建設工事単価が高い場合は、整備、維持修繕費等を民間事業者が負担することは困難であり、施設の整備、所有と運営を分離し、公共所有のもとで、運営を施設運営会社に安価又は無償貸付することが考えられる。
- 今後、官民連携によって、具体的な展示場の整備事業を実施するためには、以下の点について検討することが望まれる。
 - 施設の設置主体となる地元自治体等、関係者の合意形成
 - 対象敷地を特定した上でのより詳細なFSの検討
 - 周辺開発権の付与等のインセンティブによる民間参入しやすい事業環境の整備

建築工事単価別の5年目損益計算書の状況 (展示ホール面積2万㎡、稼働率60%)

